

各位

2025年1月20日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
(コード：7318 東証グロース)
三井屋工業株式会社

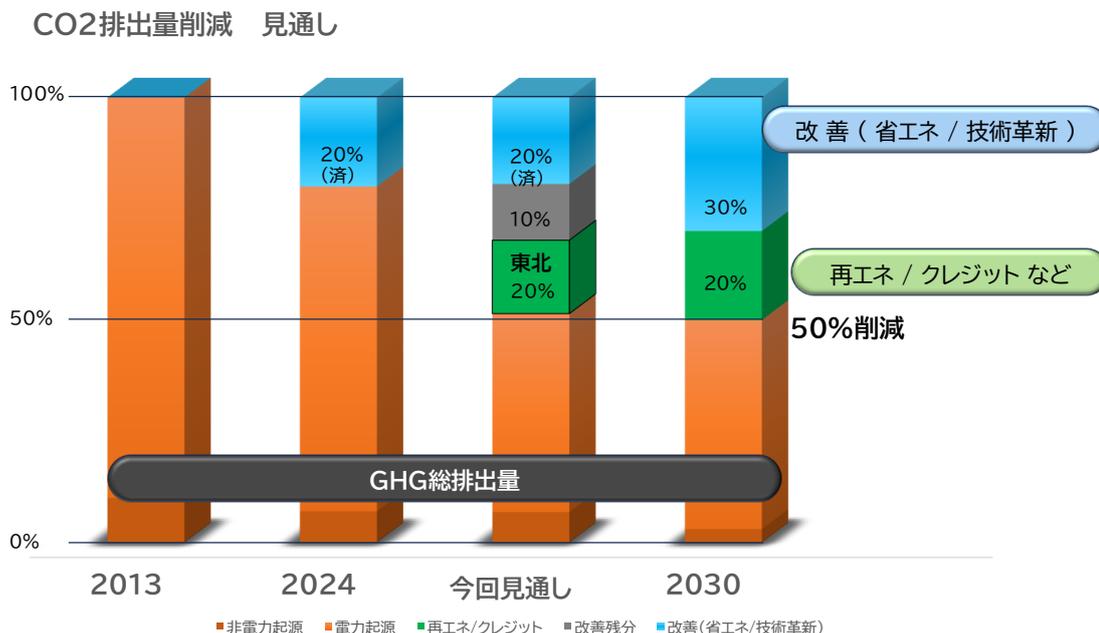
グループ会社 三井屋工業 東北工場の使用電力を全て CO2 フリーへ！

～脱炭素社会の実現に向けた更なる推進～

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO 竹内 在 以下、当社）のグループ会社である三井屋工業株式会社（代表取締役社長 高橋 直輝 以下、三井屋工業）は、生産工場のひとつである東北工場（山形県米沢市）で使用する全ての電力を、2025年1月より100%実質再生エネルギーのCO2フリー電力に切替えました。（供給元：スマートエコエナジー株式会社）

直近の年間電力量見通し 189 万 kWh が全て実質再生エネルギーに切り替わります。これにより、年間 CO2 排出量は 893t 削減される見通しで、CO2 削減効果は、約 10 万本の杉の木が 1 年間に吸収する量に相当、非常に大きな効果が期待できます。（注1）

また、三井屋工業は日本政府の地球温暖化対策計画の目標に基づき、2030年までにCO2排出量を50%削減する取り組みを行っていますが、今回の再生電力の採用により、現時点で40%削減の見通しとなりました。今後も2030年の50%削減達成に向けて、さらなる取り組みを進めてまいります。



■ 三井屋工業の「カーボンニュートラル」における活動のご紹介

三井屋工業は、「脱炭素社会の実現」というミッションを果たすべく様々な活動を推進しています。

・自社開発したリサイクルシステム：MPS（Mitsuiya material Pelletize System）

生産で発生したプラスチック端材を製品へ戻すことができるため、半永久的にリサイクルが可能です。このMPSでの活動が評価され2024年度愛知県より[愛知環境賞の優秀賞を受賞](#)いたしました。今後も、廃プラスチックの活用をさらに進め、リサイクルの拡大や新しい商品の開発に取り組んでまいります。

・愛知県サーキュラーエコミープロジェクトへの参画

愛知県が主催するサーキュラーエコミープロジェクトに参画し、更なる廃プラスチックのマテリアルリサイクル拡大を目指して活動をしています。

参考：

注1) 林野庁「森林はどのくらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？」

(https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/20141113_topics2_2.html)

■ 会社概要

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本 社 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号

設 立 2006年8月

代表者 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在

URL <https://www.serendip-c.com/>

事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

三井屋工業株式会社

事業所 愛知県豊田市三軒町3-1

設 立 1948年2月

代表者 代表取締役社長 高橋 直輝

URL <https://mitsuiya.jp/>

事業内容 自動車内外装品製造

以上

【本件に関するお問合せ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社

IR 広報担当

E-mail: information@serendip-c.com